

公務員試験

福岡版

合格体験記

地方上級／国家一般職(大卒)／国税専門官／
財務専門官／裁判所一般職(大卒)／労働基準監督官A／市役所



TACに全てある。
あとは自分が
本気を出すだけ。

合格の近道は
TACにあり!

最後まで
諦めずに!

努力は
裏切らない!

TACを信じて
努力すること

「今」が、
本気になる時

今日の努力が
明日の自信に
つながる

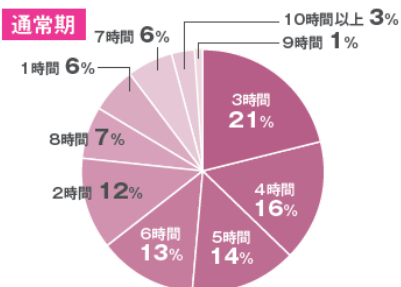
資格の学校
TAC

合格者 DATA BOOK

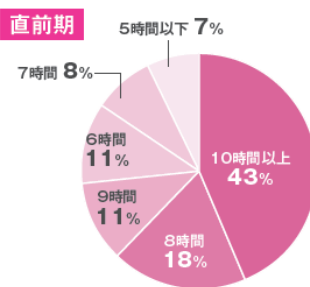
TAC合格者アンケート

2019年公務員試験合格者によるアンケートを実施しました。今後の学習にお役立てください。

Q1 1日あたりの平均学習時間はどれくらいですか？（TACの講義時間含む）

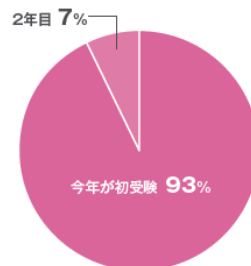


通常期の平均学習時間は3時間と答えた方が21%で1位。次いで4時間・5時間となりました。ちなみに全回答者の平均は4.5時間でした。



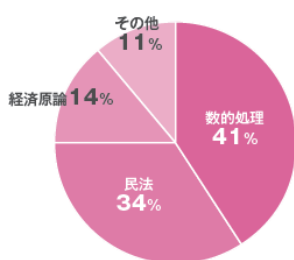
直前期になると、平均学習時間は大幅に伸び、10時間以上と答えた方が43%で半分近くを占めました。また、全回答者の平均は8.8時間で、通常期の約2倍近くとなりました。

Q2 受験回数は何回目ですか？



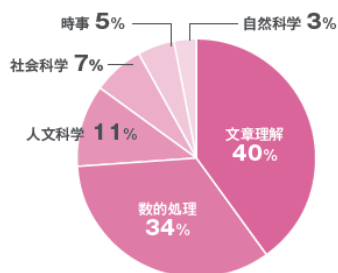
はじめての受験で合格したという方が93%となりました。予備校を活用することで、今回の受験で一発合格を目指すことが可能と言えるでしょう。

Q3 最も力を入れた科目は何ですか？



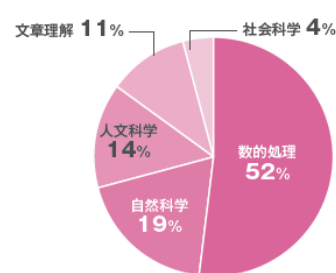
力を入れた科目では、数的処理・民法・経済原論の3科目で90%近くを占めています。これらの科目はいずれも、暗記よりも理解が重要で、予備校生と独学生とでは最も差のつく科目です。

Q4 教養試験の得意科目は何ですか？



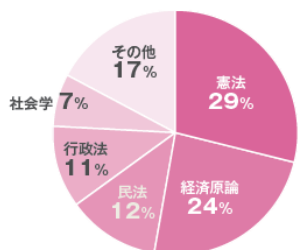
行政事務職を受験される方は文系の方が多いため、文章理解を得意科目とされる方が多いですが、苦手としやすい数的処理を日々の学習で克服して得意科目としている方も多いようです。

Q5 教養試験の不得意科目は何ですか？



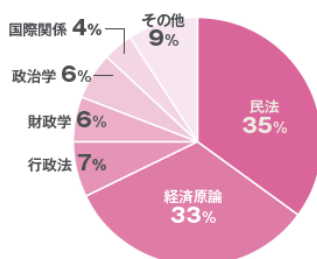
不得意科目の上位は、やはり文系の方の多くが苦手とする数的処理や自然科学といった理系分野の科目でした。つまり、この2分野を克服することが合格へのポイントとなります。

Q6 専門試験の得意科目は何ですか？



専門試験の得意科目は憲法が29%で1位、経済原論が24%で2位となりました。経済原論はTACで学習をはじめてから得意とされた方が多くいらっしゃるようです。

Q7 専門試験の不得意科目は何ですか？



専門試験の不得意科目は、民法が35%で1位、経済原論が33%で2位、以下行政法と続きます。いずれも重要な科目ですので、ぜひ克服していただきたいところです。

アンケート対象者

TAC公務員講座本科生
2019年度公務員試験 合格者

アンケート回答者数

258名

※アンケートの数値は小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がございます。





吉井 ちさと さん(22)

自分に合った学習法で合格！

- ＊ 出身校 福岡大学 理学部 在学中合格
- ＊ 受講コース 入門付総合本科生 2019年2月入学
教室講座＋Webフォロー
- ＊ 最も力を入れた科目 民法

- ＊ 最終合格試験種 福岡県

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

私が公務員を目指すようになったのは、ある1冊の小説がきっかけでした。その小説では、実在する県庁の職員が県民の方々とのかかわりを通して、県の観光振興に携わるといふものです。その小説を読んで以来、大学で学んだ自然科学や大気環境学を活かしてより住みよい福岡をつくることに貢献したいと思うようになりました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

当初は複数の公務員学校を比較しようとしていたのですが、TACに伺った際の説明を聞いて校舎見学を終えると、直感でここがいい、と思い即決していました。

私は福岡出身ではないため、福岡の公務員について知識不足なところがありましたが、1つ上の先輩との交流の場や、私の得意科目と業種の特色を合わせて講師の先生方が相談に乗って下さるなど、とても丁寧でした。おかげで大きな不安もなく試験に向かうことができ、TACを選んでよかったと思っています。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

福岡校の担任講師は、とても親身に相談に乗って下さいました。また、大学の講義などで出られなかった講義内容を詳しく解説していただき、大学の学習との両立をすることができました。さらに、公開模試の成績が振るわず落ち込んでいるときに的確なアドバイスをしていただき、本当に福岡校でよかったと思っています。

☞ 択一試験対策

択一試験の対策としては、苦手科目を少なくして全体の底上げを図っていくことだと思います。学習法としては、自分の苦手や得点源にできそうな科目を分析して学習効率を上げるようにしていました。具体的に、私は法律系科目に苦手意識を持っていたので、民法を中心に何度も問題を繰り返し解いていました。一方で、数的処理や経済科目は安定して点数を取ることができていたので、あまり時間をかけずにその分の時間を他の科目に使っていました。

☞ 面接試験対策

面接試験の対策としては、予め面接で聞かれそうなことについての話す題材集めをすることがポイントだと思います。私は、受験年の年明け頃から項目ごとに自分の性格やエピソードの内容を、思い浮かんだ時にメモに書き溜めていました。このメモのおかげで、時間のなかで面接シートや質問の回答をつくることができました。これによって、面接シートを早く完成させて模擬面接に多くの時間を費やすことができたと思います。

☞ 公開模試の活用方法

公開模試については、受験した後や次の模試の前には、必ず前回の模試を解き直すことで、時間配分や解く順番を考えるためにとても参考になりました。試験本番前にも、1か月前や1週間前等に解き直しをすることで、学習のペースメーカーにすることができました。本番の試験問題を予想してつくられたものなので、時事問題は特に学習するポイントとして活用することができると思います。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は1科目のボリュームが多く、長期戦でもあるために不安が長く続くと思います。しかし、校舎の講師陣や同じ講義を受ける仲間とともに学習を進めていくことができるので、モチベーションを保つことができます。一人ではないと思える環境はとても心強いです。私は大学の講義が忙しく、本格的に学習を始めたのは受験年の1月でしたが、講師の先生方に支えていただいて合格することができました。

しっかりと目標を持って、最後まで頑張ってください。



今泉 秀介さん(23)

目標に向かって努力する

- ＊ 出身校 西南学院大学 法学部 在学中合格
- ＊ 受講コース 総合本科生 2019年4月入学
教室講座
- ＊ 最も力を
入れた科目 民法

- ＊ 最終合格試験種
国税専門官
- 裁判所一般職（大卒）
- 福岡県（Ⅱ類行政）

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

「広く人の役に立つ仕事がしたい」という漠然とした思いから公務員を目指し始めました。大学に入ってから公務員について詳しく調べはじめ、その中で興味を持てる職種を選び、受験先を決定しました。TAC 校舎でも開催された官庁の業務説明会は、受験先の決定にとても役立ちました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

無料ガイダンスに参加したことがきっかけです。当時の私は公務員試験についての知識がほとんどなく、不安を感じていました。しかし、講師の方が試験や講義体系について詳しく親切に説明してくださり、「ここなら安心して試験に臨める」と直感し、入学を決定しました。実際、講師の講義は初学者にもわかりやすく、質問や進路相談の対応も丁寧で、試験を終えた今、TACで学習できたことに満足しています。

また、自習室の環境や各種サポートが整っており、長い受験期間を快適に過ごすことができました。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

講師との距離が近く、不安なことを解消しやすい環境が福岡校のおすすめポイントです。講義でわからないことがあれば些細なことでも丁寧に対応してもらえ、志望先の試験に不明点があれば過去のデータからの確かなアドバイスを頂けました。特に福岡近辺の試験の情報についてはより詳しいことを知ることができると思います。

また、面接対策が充実しており、TAC のベテラン講師を招いた特別プログラムや、本番さながらの模擬面接は面接の不安を解消するのにうってつけです。私自身、面接をかなり苦手としていましたが、座学においても実践練習においても質のいい指導を受けることができ、最終的には自信をもって本番の面接に臨むことができました。

☞ 択一試験対策

自分の得意・苦手を把握することが大切です。問題が解けるのは気持ちのいいものですので、何も考えずに学習をしていると、苦手な科目を無意識に避け、得意な科目・楽な科目ばかりに時間を割いてしまうことがあります（私自身そうでした）。しかし、択一試験の点数を安定させるためには、いかに弱点をなくすかが重要となるので、苦手な科目にも向かい合うことが必要です。

向かい合った結果、苦手な科目、あるいは苦手な単元を捨てる決断をすることもアリだと思います。ただ、その場合は自分の志望先の出題傾向を確認するとともに、担任講師に必ず相談するようにしましょう。択一試験の1点はかなり重いです。

☞ 公開模試の活用法

学習ペースの1つの指針として公開模試を活用していました。具体的には、各回の公開模試までに、出題される科目を一通り学習することを目標として計画を立てました。公開模試で高得点を取ることは最終合格のために必ずしも求められませんが、同じ誤答でも「知らなかったから当然解けなかった」場合と「学習したはずなのに解けなかった」場合とでは、間違ったところの印象の残り方や復習のやる気が全然違うと思います。少なくとも、何も準備をせずに公開模試を受ける、公開模試の復習に取り組まず受けっぱなしにする、といったことは避けるようにしましょう。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は科目数が多く、見慣れない科目もあるので、学習し続けることは大変です。私も「本当にこのままで大丈夫だろうか」という不安に押しつぶされそうな時期がありました。そんなときは、小さなものでもいいので目標を設定することが大切だと思います。「今日は〇時間勉強しよう！」でも「今週中にV問題集を1回転しよう！」でも大丈夫です。そのコツコツとした努力の積み重ねが、本番の試験に挑む際の自信に繋がります。また、「絶対に公務員になる！」といった初心も案外忘れてしまうものです。今の学習が夢をかなえるまでの道程であることは心に留めておきましょう。

ただ、どうしても学習のやる気が出ないという日もあると思います。そのような日は、思い切って学習から離れてリフレッシュをするのも一つの手です。私の場合、1週間のうち1日ほどは全く学習をしない日がありました。試験のことを忘れて1日を過ごしてもいいですし、官庁のパンフレットやホームページを見て面接対策やモチベーションの維持を兼ねるのもいいです。とにかく、学習にメリハリをつけることが長い受験勉強が続く公務員試験では重要だと考えています。

TACの講師陣を信じ、努力を重ねて合格をつかみ取ってください。応援しています！

TAC公務員講座

福岡校合格体験記



久門 彩乃さん(22)

コロナ禍でも TAC で合格！

- ＊ 出身校 西南学院大学 文学部 在学中合格
- ＊ 受講コース 入門付総合本科生 2019年5月入学
教室講座＋Web フォロー
- ＊ 最も力を
入れた科目 民法

- ＊ 最終合格試験種
国家一般職（大卒） 国税専門官
- 国立大学法人等

公務員を目指した理由・きっかけ

私は大学で語学を学んでおり、当初はその経験を活かせるよう、海外で働くことも視野に入れ、エアラインなどの民間企業を希望しておりました。そこで、大学3年生のときにフィリピンへの短期留学も経験しました。そこで、初めて海外のような慣れない土地で暮らすということを具体的にイメージしました。自分がそれまでイメージしていたよりも、過酷であるということを理解し、そこから日本で働くことを意識し始め、さらに先進国として発展を続ける日本のために公務員として働いてみたいと思うようになりました。

TACを選んだ理由・よかったところ

大学で行われている公務員講座と比較したうえで、TAC は質疑応答のシステムがしっかりしていることや、試験日程に合わせた効率的なスケジュールが組まれていること、充実した自習室などに惹かれたため、TAC を選びました。また、私の中は大学が”毎日友人と楽しく学び、過ごす、行き慣れた場所”となっていたので、大学での生活とメリハリをつけることができるように、”学習に集中するための場所”として TAC で過ごすことで、TAC にいるときは集中して学習に取り組むことができました。

所属校舎・担任講師のおすすめポイント

私が所属していた福岡校の魅力は何よりもとても親身になってくれる受付の方々と講師の方々だと思います。講義の受け方や校舎での過ごし方など疑問をもったときは、すぐに受付の方々に質問するようにしていました。TAC のような予備校で学習を進めていく上で、気になることや生まれる疑問は講義内容についてだけではないと思います。受付の方々が常にいらっしゃるの、質問しやすい環境となっており、そのような疑問はすぐに解決してくださいました。また、担任講師の方々はもちろんとても親身になってくださいました。初めての公務員試験に不安でいっぱいだった毎日でしたが、担任講師の方々がひとつひとつ丁寧に解決してくれます！福岡校で教室講座を受けて本当によかったと思っています。

択一試験対策

択一試験対策として私が何よりも大切にしていたことは基本をおろそかにしないことです。

日々行われる演習に向けて取り組むときも、何よりも講義ノートなど基本が詰め込んである教材を利用し、それぞれの回の最後のページにある基本問題を何度も解いていました。それだけでも演習で高得点をとることができます。また、試験の直前においても基本問題は本当に大切だと思います。コロナウィルスの影響でいくつかの試験が予定通りに実施されず、初めての受験は地方上級の試験でした。その試験に向けてわたしは、直前期にV問題集ばかり解いていました。V問題集を解くことでどのような問題が頻出かなどを把握することができます。しかし、私は基本をおろそかにしてしまっていました。地方上級の試験で出た基本的な問題を間違えてしまい点数をたくさん落としてしまったのです。その後、改めて基本問題に戻り何度も解き直しました。基本問題をしっかり理解できていれば、大抵の問題には対応できます。直前期でも、基本をおろそかにしないことが合格へのコツだと思います。

面接試験対策

面接が苦手な方は、とにかく何度も模擬面接をすることがとても大切だと思います。私自身、面接にとても苦手意識を持っていました。元々話すスピードが遅いということもあり、また、自分がしていたアルバイトを通して優しい雰囲気ですることが体に染み付いていました。そのため、頼り甲斐がある面接に向けた話し方を身につけることにとても苦労しました。家でも、模擬面接で聞かれた内容を1人でテキパキ力強く話せるように練習を繰り返し、なんども模擬面接を講師の方々にしていただきました。繰り返し練習することで、必ず面接に適した話し方や雰囲気は身につけることができます！また、面接カードの添削も講師の方から合格をもらうまで何度も書き直すことをおすすめします。

これから受験する人へのアドバイス

公務員試験は民間企業への就活に比べると、学習量など大変なこともあると思います。特に、このコロナ禍で受験スタイルが変わり、ウェブ面接が行われたり試験日に変更が起きたりなど前例がない思わぬハプニングもあるかもしれません。TAC ではそのような変化にも敏感で、変更に合わせて対策をすぐに行ってくれます。不安に感じたときは、担当講師の方々にすぐ相談するようにしましょう！気になることをそのままにしておくと、学習に集中できなくなったりストレスに感じたりと良いことはありません。講師の方々はきっと親身になって話を聞いてくれますよ！合格にむけて最後まで諦めず、頑張ってください！

TAC公務員講座

福岡校合格体験記



篠隈 ももさん(21)

長い戦いだからこそリラックスして！

- * 出身校 熊本大学 文学部 在学中合格
- * 受講コース 入門付総合本科生 2019年5月入学
教室講座+Web フォロー
- * 最も力を
入れた科目 民法

- * 最終合格試験種
福岡市（上級・行政/一般）8位

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

元々は両親のすすめで、高校生の頃から公務員になろうとぼんやりと考えていました。さらに、大学通学のための熊本での一人暮らしを終え、大学3年次に実家のある福岡市に戻ってきて以降、大好きな福岡市に基盤である行政面から恩返しがしたいと考えようになり、福岡市市職員を目指しはじめました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

高校時代の友人が3月生として先に入学しており、無料体験講義に来てみたら？と誘われたことがきっかけです。実際にTACのシステムについて話を聞き、無料体験講義を受講した後は、TACに通おうと心は決まっていた。学校の規模や輝かしい実績、そして講師陣の手厚いサポートが決め手だったと考えています。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

福岡校は受講生の数も多すぎず、講師の方々が3人と少ない分、一人一人と関わり、より手厚いサポートをしていただける環境にあったと思います。私は、普段の講義や学習の進め方について授業後に質問したり、新型コロナウイルスの流行により対面でお話ができなかったときに電話相談を活用したりしました。どの講師もいつ質問に行ってもにこやかに対応してくださり、お話をする度にやる気が高まりました。

☞ 択一試験対策

私は苦手だった経済学の初心者向けテキストを除いて、すべてTACの教材で学習しました。講師の方々や上級生のお話どおり、とにかくV問題集を何度もくり返し解くことに全力を注ぎました。数的処理も苦手だったのですが、私の場合やりすぎると拒否反応が出て尚更学習しなくなってしまった時があったので、一日10問以内と決めて解いていました。数的処理と経済学は最低限の点数をとれるくらいの時間だけを割いて、浮いた時間を、時間をかければかけるほど点が取れるといわれていた法律科目に割きました。特に憲法、民法は5回ほどテキストを読み直し、V問題集では解けなかった問題を最低5回は解いていました。

☞ 面接試験対策

私は面接慣れをするためにも、民間企業の面接を3社ほど受けました。勉強しなければという焦りもありましたが、今思えばその時に面接に慣れておいてよかったなと強く思います。なぜなら、そのために自己分析や基本事項の受け答えはあらかじめできていたので、民間の就活後、一次試験が終わるまでは100%択一試験対策に打ち込めたからです。

一次試験後は、とにかく多くの人に自分の面接を見てもらおうと、TACだけではなく県や市の就活ハローワークを利用したり、家族や友人にアドバイスをもらったりして、毎日違う人に何らかの形で面接対策をしてもらっていました。人によって見え方は本当に様々なので、多くの人に何度も褒められたところが自分の強みだとわかり、逆によく指摘されるところは自分が一番直さなければいけないところなのだとわかりました。また、あらゆる人との模擬面接を繰り返すことでより多くの質問に対応できるようになりました。そのおかげで、本番の面接ではかなり込み入った質問を何度もされましたが、言葉に詰まることなく受け答えができ、リラックスして自分の思いを伝えることができたと思います。

☞ TAC教材の活用法

V問題集のそれぞれの問題の上部にある日付の横のスペースに、問題の正誤を書いていました。ここまでは皆さんやられていると思いますが、私はまぐれで正解した問題や答えを丸暗記してしまっていた問題などに△マークをつけたり、「たまたま（正解した）」と記入したりしてその時の状況を一目でわかるようにして、それが繰り返しやすい問題を探するときの指標になり便利でした。また、重要だと感じた問題には目立つよう蛍光ペンで星マークを書いたり付箋をしたりするのに加え、重要だと感じた模範解答の文もマーカーで線を引いていました。紙とペンを持って学習ができない状況では、その解答文を読むだけでも勉強になりました。

☞ これから受験する人へ

他の方々も言われているように、公務員試験は民間の就職活動と比べて本当に長い戦いです。そのため、学習量の調節・息抜きが本当に重要です。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、ある試験種は1次試験が3ヶ月延期になり、よりいっそう耐えがたい一年でした。ですがそのぶん私は、行き詰まっているときは学習時間を一日6時間以内にする、週に一度は友人と関わる機会をつくる、といったルールを設け、できるだけリラックスして取り組むようにしていました。正直私は周りの友人より学習量は少なかったと思いますが、重要なのはどれだけ学習するかではなく、どのようにこの長い戦いとうまく付き合っていくかだと実感しました。心の奥底に公務員になりたいという確固たる思いがあれば必ず合格できるはずです。応援しています！

公開模試の結果などで思うようにいかず壁にぶつかることもたくさんあると思いますが、TACの講師の方々はいつも親身になって支えてくれます。友人と遊びに行くなど、時々気分転換をしながらモチベーションを維持して最後まで頑張ってください。皆さんが合格を勝ち取られることを心から応援しています！

TAC公務員講座

福岡校合格体験記



瀬戸 詩織さん(22)

TACを選んで、夢に一步近づけた！

- * 出身校 九州大学 教育学部 在学中合格
- * 受講コース 教養本科生 2019年6月入学
教室講座
- * 最も力を入れた科目 数的処理

- * 最終合格試験種
航空管制官

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

中学生の頃に見たテレビドラマをきっかけに、パイロットに英語で指示を出して空の安全を守る航空管制官という職業を知りました。高校生の頃から将来の夢として目指すことを決め、航空管制官が国家公務員であったため、大学3年生になってから公務員試験対策を始めました。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

大学でパンフレットをもらい、そこで過去の受講生が航空管制官の試験に合格されたことを知ってTACを選びました。また受講相談に伺った際、丁寧に対応していただいただけでなく、他校舎から合格体験記を取り寄せていただいていたことが印象的でTACに入学することを決めました。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

私が受講していたコースの中で、対面講義は数的処理だけでした。講義では、項目ごとに重要なポイントを丁寧に教わった後に問題を実際に解いていくため、習ったことを使う感覚を掴むことができました。講義で使用していたレジュメは復習しやすく、試験前にも見返していました。また自習室の環境も良く、長い時間集中することができていたため頻繁に利用していました。

☞ TAC教材の活用法

V問題集は試験の前日まで使用しており、数的処理の問題は何度も繰り返し解いていました。繰り返し解くことで、問題から解法のパターンが見えてくるようになっていったので、V問題集がぼろぼろになるまで解き直し、それが自信に繋がったと思います。

☞ 効率的学習法

私が心がけていたのは、講義の内容を理解すること、わからなかったところは積極的に質問すること、講義の復習も兼ねて問題を繰り返し解くこと、の3点です。試験までの時間は限られています。講義は集中して聞いて、スムーズに解けなかった問題を中心に復習し、習ったことを確実に身につけるようにしていました。効率的に学習を進めるためには、試験の配点を考慮して、捨て科目を作ることも重要なことだと思います。自分で判断するのではなく、担当講師に相談してみてください。

☞ 専門試験対策

適性試験と英語については、独学で対策をしていました。まず、適性試験は満点を狙える科目です。私自身、初めは時間内に解くこともできませんでしたが、過去問を何度も解いていると徐々にスピードが上がり、本番では満点を取ることができました。配点の高い英語は、長文に慣れることが最も重要です。過去問と同じくらいの分量の長文をできるだけ多く用意すると良いと思います。文法についても一通り復習しておく必要があります。

☞ 面接試験対策

航空管制官の試験では2次が面接試験でした。1次試験が終わってすぐにTACで面接カードの添削と、模擬面接をしていただきました。模擬面接では本番と同じような緊張感を味わうことができ、終了後講師の方には的確なアドバイスをしていただけます。指摘された点を意識して自分が納得いくまで何度も面接練習を繰り返し、本番までに改善することができました。

☞ 業務説明会の活用法

TACで行われた業務説明会で初めて航空管制官として働いている方とお話しすることができました。説明会が開催された11月は、どのように学習を進めれば良いかわからず、悩んでいた時期でした。1年目と2年目の方がいらっしゃっていたため、同じ時期にどのような試験対策をしていたか聞くことができました。さらに、1日の流れや今まで知らなかった業務内容を知ることができ、モチベーションアップにも繋がりました。

☞ これから受験する人へのアドバイス

重要なことは、正しい情報を集めることと逆算して計画を立てることです。航空管制官の試験情報はかなり少なかったと思いますが、配点と過去問の形式だけはきちんと把握していました。また、私は大学に通いながら試験勉強をしていたため、大学の授業やアルバイトとの時間のバランスを取ることが難しく、学習に手が回らない日もありました。まずは、試験日から逆算して大体いいので学習計画を立ててください。学習できない日があっても良いと思います。何を優先すべきかを考え、学習以外の時間も確保してモチベーションを保ちながら、自分のペースで計画を進めてください。皆さんが志望する職種に合格することを願っています。

TAC公務員講座

福岡校合格体験記



松澤 利郁さん(25)

対策と準備を粘り強く！

- ＊ 出身校 西南学院大学 国際文化学部 卒業
- ＊ 受講コース 総合本科生 2019年10月入学
教室講座
- ＊ 最も力を
入れた科目 民法

- ＊ 最終合格試験種
福岡市（行政事務/早期採用）3位
国家総合職（法律区分）

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

業務を通して国民の生活を支えられ、広く社会貢献ができるような仕事をしたいと思い公務員をしました。私は大学卒業後、民間企業に就職しました。仕事の性質上、非常に出張が多く、福岡に戻る度に地元である福岡市の魅力を実感し、興味を持ちはじめました。また、特に地方自治体の仕事は、業務内容が幅広く、様々な業務を経験できる可能性があります。そのような職場で働くことで、自分自身も業務を通じてスキルアップを図れるところも公務員を目指した要因の一つです。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

私がTACを選んだ理由は、以前、友人がTACを受講して、見事に公務員試験に合格した話を聞いたことがきっかけです。その後、資料請求をして筆記の対策だけではなく二次以降の人物試験の対策もしっかりできそうであることを知り「TACなら合格できそう」と思えたので、受講を決めました。実際に入学した後は、教室講座や自習室では他の受講生が学習に励んでいる姿が見えますので、そこモチベーションに繋がって頑張ることができました。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

福岡校の良さはまず立地がいいところです。西鉄やバスや地下鉄の駅から徒歩圏内にあるため自宅からはもちろん、他に用事がある時も不便なく通うことができました。そして、もう一つのおすすめポイントは親切な担任講師の方々です。講義がわかりやすくそして二次対策もしっかりフォローしていただきます。また、福岡地区の自治体の試験情報をホームルーム（HR）で入手することも助かりました。公務員試験の準備を進めるうえで疑問や不明点がでてきましたが、気軽に相談に乗っていただけたことがよかったです。

☞ 効率的学習法

基本的にはTACのカリキュラムに沿って科目を進めていけば本番の試験に間に合います。私はこれまで法律科目や経済科目は全くのノータッチだったため、理解できるか心配でしたが問題ありませんでした。安心してください。受講した範囲を理解し、その範囲をV問題集で解くという復習方法がよいと思います。最初は簡単に思えるかもしれませんが、どんどんボリュームも増え難易度もあがるので案外余裕がなくなります。溜めないように取り組みましょう。

また、科目や範囲によって重点的に学習するところを決めることをおすすめします。具体的には、教養試験、専門試験のそれぞれ多く出題される科目から重点的に学習する方法です。そして、学習した内容は必ず忘れます。通常のV問題集の進め方とは別に復習として過去に学習した内容を計画立てて復習してください。

☞ 面接試験対策

面接対策は一次試験が終わってからでも十分に間に合います。ただ、個人的には少しでも早めに準備していた方が気持ちに余裕が生まれることは間違いありません。そのため、筆記対策の空いた時間などを活用することをおすすめします。また、面接の準備時期には、必ず模擬面接を受けた方がよいと思います。私は前職で営業経験があったため、多少なりとも話すことに苦手意識はなかったのですが、自分自身のことを面接の場で話すとなると全く別話であることを最初の模擬面接で実感しました。当然、面接が得意な方もいるかと思いますが、場慣れと自分自身の改善点を見つける目的で模擬面接を一度受けてみてください。模擬面接では、講師は良いところだけではなく改善点もしっかり指摘していただきますので、人物試験の合格のために大変助けになりました。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は試験の出題科目も多く、論文対策、自治体研究、面接対策とやることが沢山あります。

途中で悩み、不安になることがあると思います。しかし、最後の最後まで成績は伸びますので、自分とTACを信じて粘り強くあきらめないことが重要です。ですが、公務員試験はとにかく長期戦です。詰めすぎるとパンクしてしまいますので、勉強しながら適度に息抜きと気分転換する時間をつくりモチベーションを保つことも大切だと思います。これから合格を目指す皆さんを応援しています！

TAC公務員講座

福岡校合格体験記



大橋 来人さん(24)

諦めないで続ける

- * 出身校 福岡大学 法学部 卒業
- * 受講コース 総合本科生 2020年1月入学
ビデオブース講座
- * 最も力を
入れた科目 社会学

- * 最終合格試験種
国家一般職（大卒）

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

大学での公務員の説明会で興味を持ったのがきっかけです。その説明会で、公務員は国民のために働くといった責任があり、そのような責任ある業務に携わりたいと思いました。また私自身法学部出身ということもあって、法律にふれる機会が多い公務員の業務に惹かれたのもきっかけの一つです。

☞ TACを選んだ理由・よかったところ

私はビデオブースでの講座で一番良かったと思うところは、自分で日程を決めて予約するので、自分のペースで学習できたことです。また、TACの教材は、講義ノートや講義教材で分かりやすく講義の内容もまとめてくれているので、いつでも自分で復習できるところも選んでよかったと思うところです。そして、TACは直前期のサポートも充実していたので、TACを選びました。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

私はビデオブースでの講座だったので、講師の方々とは接する機会はあまりなかったですが、相談や質問しに行ったときは丁寧に対応してくれたのを印象に残っています。また、相談や質問はもちろん学習のことやそれ以外の進路のことでも親身に対応してくれるので、積極的に活用しましょう。

☞ 択一試験対策

まず、専門試験では、憲法、民法、ミクロ経済学、マクロ、行政法を重点的に進め、問題集は少なくとも3回は解きました。これらの科目はどの試験種でも出題されるので、得意になっておけば、科目が多い国家公務員試験等に対応しやすくなります。他には財政学や社会学を重点的にしました。財政学は財務専門官を除き、前の科目ほどではないですが、出題頻度も比較的高く、学習しておけば社会科学や時事対策にもつながります。社会学は、国家一般職で選ぶため学習しましたが、暗記が主で国家一般職の選択科目の中では高得点を狙いやすいのでおすすめです。

教養試験では、特に出題数の多い文章理解や数的処理の対策を最優先にすべきだと思います。私は特に数的処理については、毎日5問以上はとくようにしていました。また、教養試験は時間との勝負にもなるので、文章理解や数的処理の演習をするときは時間を計りながらすると本番も時間配分できると思います。

☞ 論文・専門記述試験対策

論文について

年始から始まる時事対策と組み合わせて学習するのが効率的です。論文が苦手な方は、論文試験対策テキストで過去問の模範解答が詳しく書いてあるので、模範解答で書き方を確認してからのぞみましょう。また、自分が書いた論文は講師の方に提出すれば、丁寧に添削してくれるので積極的に提出しましょう。

専門記述について

多くの方が書けるのが不安に思われている試験だと思いますが、専門の択一試験対策がある程度終わってから対策に臨みましょう。専門記述は択一試験対策の知識も多くかかわるので、択一試験対策で知識を深め、論点をしっかり把握していけば自然に書けるようになると思います。

☞ これから受験する人へのアドバイス

私は公務員試験3年目で合格できました。民間就活経験もなく、公務員試験一本で頑張ってきました。公務員浪人は新卒などの人と比べて不利ではないかと思われる人も多いと思います。しかし、私はむしろ今まで公務員試験一本で頑張ってきた意欲などがアピールになり、合格に導けたのではないかと思います。今年はコロナの影響で公務員試験も長期戦になりました。来年以降もコロナの影響で公務員試験がどのように行われるか不安に思われる方が多くいると思います。しかし、我慢強く最後まで学習を続けければ、必ず良い結果につながると思います。最後まであきらめずに頑張らしましょう！！

TAC公務員講座

福岡校合格体験記



井上 知俊さん(22)

どん底からの合格！

- ＊ 出身校 九州大学 法学部 卒業
- ＊ 受講コース 総合本科生 2019年 10月入学
Web 通信講座
- ＊ 最も力を
入れた科目 民法

＊ 最終合格試験種

福岡市（上級行政事務／行政（一般））（早期採用 8 位）

国立大学法人等

☞ 公務員を目指した理由・きっかけ

私は大学在学中にはエアラインパイロットを目指して就職活動をしていました。しかし、身体的な理由で選考に落ちてしまい、失意のどん底にいました。そこで、もう 1 度約 40 年仕事に取り組むに当たって自分が何をしたいのかを考える時間を作りました。その結果、私は社会の基盤を支え、社会貢献が出来る公務員の仕事に魅力を感じ、公務員として生涯働きたいという思いから公務員を目指すことにしました。

☞ TAC を選んだ理由・よかったところ

公務員予備校を探していた際、TAC に通っていた友人に TAC をすすめてもらい、TAC の窓口で相談に行かせて頂きました。その際、職員の方が試験制度や TAC のカリキュラムを丁寧に説明して下さい、「ここなら公務員になるという目標を達成できそう！」と思い、入学しました。また、確実な実績があることも決め手になりました。

☞ 所属校舎・担任講師のおすすめポイント

私は通信講座を受講していましたが、何ら不自由なく効率的に学習を進めることが出来ました。通信生でも悩みや不安がある際には最寄りの校舎の講師の方々に相談することができ、定期的に相談させて頂きました。また、特に私は学習のスタートが遅かったので、早急に学習を進める必要があり、通信講座では自分のペースで空いた時間を有効に活用しながら学習を進めることができました。

☞ 公開模試の活用法

公務員試験では、多くの科目を解く必要があります。その際、1 つの科目に固執していれば、他科目の得点を取り損ねる可能性があります。よって、『広く・浅く』学習することが重要だと思います。TAC の教材には、過去問を集約した V 問題集があり、大変有効です。なぜなら、公務員試験には過去に類似した問題が多数出題されることが多いからです。私は V 問題集を何度も繰り返し解き、確実に力をつけることができました。是非、V 問題集を有効に活用して下さい！

☞ 論文・専門記述試験対策

多くの公務員試験では、記述式の試験が課されます。私は法学部出身のため、憲法等の専門記述は経験がありましたが、卒論が無かったため、論文試験に対して苦手意識がありました。そこで、私は TAC の論文試験対策を有効活用し、無事に突破することができました。具体的には、論文対策テキストに掲載されているトピックをノートにまとめ、キーワードを押さえること、そして論文の書き方をしっかりと押さえることです。この 2 点はしておくと思います。

☞ 面接試験対策

筆記試験の後には、必ず面接があります。私が面接の際に気を付けていたことは、『元気に、笑顔で、明るく』話すことです。なぜなら、面接の視覚情報は評価に大いに影響を与えると考えているからです。勿論自己分析や仕事を知ること重要であると思いますが、それ以前の基礎が非常に重要だと思います。TAC では模擬面接で自分の改善点を知ることができ、非常に有効です。是非、模擬面接をフル活用しながら、面接対策して下さい！

☞ 公開模試の活用法

公開模試は自分の実力を詳細に知ることができます。また、実際に本番同様の形式で行われるため、本番のシミュレーションとしても大変有効です。よって、可能であれば自宅ではなく、予備校で公開模試を受験することをおすすめします。また、公開模試は受けて終わりではなく、同じ問題を本番で解けるようにするためにも、復習が重要です。地方上級の試験前日には、地方上級の公開模試を見直し、落ち着いて受験することができました。

☞ これから受験する人へ

公務員試験は公平・公正な試験であることを受験してみて肌で実感することができました。民間企業では多少コネや学歴派閥もあるかもしれませんが、公務員試験にそのようなことはありません。私自身、既卒(職歴無し)での受験となり、最初は不安もありましたが、TAC の全面的なバックアップもあり、安心して受験に臨むことができました。これから TAC で受験に挑戦される方は、TAC のカリキュラムを大いに活用し、是非自信をつけて試験に臨んで下さい！

TAC公務員講座

福岡校合格体験記



橋口 雅弘さん(28)

技術職から教育行政職へ

- ＊ 出身校 九州大学 工学部 卒業
- ＊ 受講コース 主要科目本科生 2019年12月入学
Web 通信講座
- ＊ 最も力を入れた科目 行政法

- ＊ 最終合格試験種 佐賀県（教育行政）

公務員を目指した理由・きっかけ

私は元々5年間地方自治体の技術系公務員として勤務していました。しかし家族に教育関係の仕事に携わる人が多く、日頃から学校現場についての話を聞くうちに先生たちにとって働きやすく、生徒たちにとって学びやすい学校の環境づくりをしたいという気持ちが強くなり、学校事務の仕事ができる教育行政職を目指すことにしました。

TACを選んだ理由・よかったところ

仕事をしながらの受験勉強だったので効率的に学習できる方法を考えていました。そこで以前TACのWeb講義を受講していた友人からTACの講義は分かりやすく、Web講義だと分からない箇所は何度でも受講できると聞いたのでTACを選びました。また多くのコースがあり、自分に合ったコースを受講できるということも理由の一つでした。良かった点としてはWeb講義の質の高さが挙げられます。单元ごとに重要度を教えてもらったので要点を絞って学習することができました。また再生速度を上げることもできるので、自分の理解度に応じて調整することができ、効率的に学習することができたと思います。

所属校舎・担任講師のおすすめポイント

基本的にWeb講義を受けていたので校舎に行くことはありませんでしたが、Web担任講師の先生方の講義はとても聞きやすく理解が進みました。特に専門科目（憲法、民法、行政法、経済）は初めて習う内容が多く初めは苦労しましたが、講師の先生方のめりはりのきいた講義で理解を深めることができました。また面接対策で福岡校に行きましたが、自分では認識していなかった面接の重要ポイントを教えていただきとても助かりました。

択一試験対策

まず教養試験についてですが、範囲が膨大なので全教科を完璧に対策すると必要はないと思います。その代わりに出題数が多い数的処理・文章理解や自分の得意科目の正解率を高めていくように心がけました。私は数的処理の中でも図形に関する問題が苦手でしたが、イメージだけで解くのではなく、問題の考え方を講義で教えてもらったので正解率がかなり上がりました。

次に専門試験についてですが、私が受験した自治体は1問当たりの配点が専門は教養の2倍近くあったので重点的に対策が必要でした。

しかし憲法・民法・行政法・マクロ、ミクロ経済と初めて習う内容の分野が多く最初のころは点数がとれるか不安でした。Web講義やミニテスト、V問題集を繰り返し解くことで重要なポイントが少しずつ分かるようになったので、最後まで諦めずに取り組むことが大切だと思います。また時事対策は教養対策にもなるのでしっかりと取り組みました。

論文試験対策

論文対策講座で頻出の論文テーマやそれに対する論文構成方法を教えてもらえるので、実際にいくつかのテーマについて事前に情報収集をして、本番で出題されたときにスムーズに書けるようにしていました。準備していないテーマでも別のテーマで準備していた内容が使えると思います。また通信制でも添削指導をしてもらうことができるので利用しました。

効率的学習法

仕事をしながらの公務員試験対策となったので効率的な学習を心がけていました。オリエンテーションで各科目の出題数がわかったので重要科目とそうではない科目を分類して時間の使い方を工夫しました。私の場合は行政法が学習範囲の割には出題数が多かったので積極的に取り組みました。また暗記事項を1つのノートにまとめて隙間時間に何度も見直すようにしていました。

これから受験する人へのアドバイス

現役の方も社会人の方も筆記対策の膨大な範囲に心が折れてしまうことがあると思います。そのような時はしっかりと自分の趣味などでリフレッシュして長い試験対策期間を乗り切ることが大切だと思います。身近に公務員試験を受ける仲間がいたら時々情報交換をすることもいいでしょう。お互いに不安が解消されることもあるはずです。筆記試験についてはあまり難しい問題まで理解しようとせず、V問題集の難易度Aだけは確実に得点すると決まるだけでも負担はかなり減るはずです。最後まで諦めずTACの先生方の指導を信じて合格を掴みましょう。社会人の方は特に筆記試験対策が大変だと思いますが、その分面接時には社会人経験がプラスになるはずです。年齢が高いから、学習時間が足りないからといって最初から諦めずにぜひ公務員試験に取り組んでください。TACの講師の先生方の心強いサポートがあるのできっと希望の自治体に合格できます。これからの長い人生後悔しないためにも勇気をもって一歩踏み出し、夢を掴むため頑張りましょう。

Memo

[illegible]

受験勉強を開始する段階で、具体的な志望先が決まっていなくても大丈夫。

志望先の選択

学習開始前に決めておきたいことは、「公務員を就職先の1つとして考えよう」という意思だけです。具体的な志望先は、これから受験対策を進めながら情報収集をしたり説明会に参加したり、いわゆる就活をしながら、じっくりと考えてください。

CHECK

01 官公庁・自治体業務説明会@TAC校舎

TACでは、例年11月頃から翌年の3月頃にかけて、全国のTAC校舎に自治体や官公庁の現役職員や人事担当者をお招きし、業務内容、力を入れている政策、求める人材像などについてお話いただく機会として、『官公庁・自治体業務説明会』を実施しています。

例年、大卒程度の公務員試験の中でも

人気の高い都道府県、政令指定都市、国家公務員などを中心に、たくさんの説明会を全国のTAC校舎で実施していますので、ぜひお気軽にご参加ください。

【過去の実施例】

特別区(東京23区)・都道府県・政令指定都市・各府省庁・財務局・国税局・税関・労働局・裁判所・衆議院・参議院・国立大学法人等 など



CHECK

02 官公庁・自治体主催の説明会

各官公庁・自治体主催の採用関連イベント(説明会・相談会など)の実施情報は、各機関のWebサイトの職員採用情報ページにて随時発表されています。第一志望はもちろん、併願先として考えている志望先の情報は、こまめにチェックしておきましょう(中には要事前予約のものもあります)。なんとなく説明会に

行ってみたら、「この人たちと一緒に働きたい」「職場の雰囲気が自分に合いそう」と感じ、「ココを受験しよう!」という合格者もいらっしゃいます。面接において、自分が説明会に参加したことで感じた感想なども交えてお話できると、格段に志望動機の説得力が増します。

調べ方はカンタン!

・地方公務員(都道府県・市町村)

〇〇市 職員採用

検索

・国家一般職/総合職 国家専門職

国家公務員採用情報NAVI

検索

・裁判所職員

裁判所 職員採用

検索

など

CHECK

03 インターンシップ(主に学生の方)

民間企業のみならず、公務員の世界にもインターンシップ制度があります。これまでも夏休みや春休みを利用して、一定期間研修生として公務を体験し、面接試験の本番において志望理由の1つとしてお話される方が一定数いらっしゃいます。

インターンシップに参加する受験者側のメリットとして、やりたい仕事が明確に

なることで、モチベーションUP&維持に繋がる、また公務において活かせる自分の強みが明確になることなどが、挙げられます。インターンシップへの参加は、合格するための必須条件ではありませんが、参加することで得られるメリットを考えると、参加する価値は十分にあると言えます。ぜひあなたもチャレンジしてみませんか?

インターンシップへの参加方法

①情報を入手する

官公庁のHPや大学の掲示板や就職課などを要チェック。

②応募書類を作成&提出

官公庁・自治体HPから必要書類(調査票・応募用紙など)を入手し、必要事項を記入し、大学・大学院を通じて必要書類を提出します。

③インターンシップへ参加

※応募者多数の場合は、抽選の場合があります。

TAC公務員講座・公務員試験の最新情報をGETしよう!

Webサイト TAC 公務員

検索



公式アカウント「TAC_komuin」

公務員試験 DATA BOOK

試験実施状況

地方上級（行政事務）

全 = 全国型 全変 = 全国型変形 関 = 関東型 関変 = 関東型変形 中北 = 中部北陸型 法律 = 法律専門型 経済 = 経済専門型

都道府県	区分 (行政事務)	教養	専門	採用予定数		受験者		最終合格者数		倍率	
				2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
北海道	一般行政A(第1回)	教養	専門	100	150	748	1,367	191	296	3.9	4.6
青森県	行政	全変	全	63	64	265	225	63	64	4.2	3.5
岩手県	一般行政A	全変	全変	61	49	231	236	78	70	3.0	3.4
宮城県	行政	全	全	65	55	418	415	89	65	4.7	6.4
秋田県	行政A	全変	全	29	29	243	256	44	39	5.5	6.6
山形県	行政	全	全	60	45	300	319	63	70	4.8	4.6
福島県	行政事務	全	全	70	97	418	432	94	119	4.4	3.6
茨城県	事務(知事部局等)	関	関	67	64	580	487	86	84	6.7	5.8
栃木県	行政	関変	関	40	50	269	327	75	62	3.6	5.3
群馬県	行政事務	関	関	85	64	435	461	106	80	4.1	5.8
埼玉県	一般行政	関	関	193	149	1,260	1,251	333	241	3.8	5.2
千葉県	一般行政A	関	関	100	70	746	715	206	110	3.6	6.5
東京都	I型B(行政 一般方式)	独自	記述	265	290	1,626	2,276	352	403	4.6	5.6
	I型B(行政 新方式)	独自	—	90	100	494	806	115	123	4.3	6.6
神奈川県	I型行政	関	他	110	110	705	757	217	187	3.2	4.0
新潟県	一般行政A・B	関変	関変	38	56	294	328	50	69	5.9	4.8
富山県	総合行政	中北	中北	53	49	228	244	63	60	3.6	4.1
石川県	行政	中北	中北	46	43	213	194	58	53	3.7	3.7
福井県	行政	中北	中北	60	45	199	174	69	54	2.9	3.2
山梨県	行政I	関	関	57	50	346	364	65	52	5.3	7.0
長野県	行政A	関	関	50	40	283	325	71	49	4.0	6.6
岐阜県	行政I	中北	中北	50	65	227	232	63	80	3.6	2.9
静岡県	行政I(従来型)	関	関変	71	73	318	316	81	106	3.9	3.0
愛知県	行政I	中北	中北	130	130	769	688	208	208	3.7	3.3
三重県	行政I	中北	中北	58	44	274	247	78	63	3.5	3.9
滋賀県	行政A(専門試験型)	全変	全	50	55	351	305	63	71	5.6	4.3
京都府	行政I A(総合政策)	他	全変	115	85	384	336	115	97	3.3	3.5
大阪府	行政I A(法律)	他	法律	—	—	—	—	—	—	—	—
	行政I A(経済)	他	経済	—	—	—	—	—	—	—	—
和歌山県	行政22-25	SPI3	—	115	120	2,013	1,018	181	174	11.1	5.9
兵庫県	一般事務職	全変	全変	83	84	541	510	103	106	5.3	4.8
奈良県	行政A	全変	全変	58	65	229	245	59	69	3.9	3.6
和歌山県	一般行政職(通称)	全変	他	82	62	328	321	87	74	3.8	4.3
鳥取県	事務(一般コース)	全	全	25	20	89	108	33	29	2.7	3.7
島根県	行政A	全	全変	56	49	118	122	57	49	2.1	2.5
岡山県	行政	全	全	49	50	306	312	74	70	4.1	4.5
広島県	一般事務A(行政)	全変	全	—	—	—	—	—	—	—	—
	一般事務A(法律)	全変	法律	55	78	363	352	84	113	4.3	3.1
山口県	一般事務A(経済)	全変	経済	—	—	—	—	—	—	—	—
	行政	全	全	40	40	260	197	86	75	3.0	2.6
徳島県	行政事務	全	他	55	56	403	408	70	66	5.8	6.2
香川県	一般行政事務	全	全	60	65	281	298	73	69	3.8	4.3
高知県	行政事務A	全	全	70	71	359	391	79	76	4.5	5.1
高知県	行政	全変	全	50	44	208	220	50	52	4.2	4.2
福岡県	行政	全	全	45	40	520	450	55	45	9.5	10.0
佐賀県	行政	全変	全	23	29	187	175	23	29	8.1	6.0
長崎県	行政	全	全	27	18	162	143	37	22	4.4	6.5
熊本県	行政	全変	他	74	75	422	357	74	75	5.7	4.8
大分県	行政	全	全	95	86	332	311	114	86	2.9	3.6
宮崎県	一般行政	全	全	39	54	170	239	60	70	2.8	3.4
鹿児島県	行政	全	全	25	42	321	277	50	65	6.4	4.3
沖縄県	行政I	全	全	25	40	845	795	64	79	13.2	10.1

*京都府の採用予定数は「IA・IB」の合計となります。

政令市	区分 (行政事務)	教養	専門	採用予定数		受験者		最終合格者数		倍率	
				2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
札幌市	一般事務(行政コース)	総合	—	155	125	756	875	147	121	5.1	7.2
仙台市	事務	全変	全変	90	90	623	702	98	90	6.4	7.8
さいたま市	行政事務	全変	全変	100	89	659	864	207	149	3.2	5.8
千葉市	事務(行政A)	全変	全変	50	50	479	392	91	81	5.3	4.8
特別区	I型(事務)	独自	独自	906	966	8,121	11,501	1,740	2,032	4.7	5.7
横浜市	事務	他	—	260	270	1,918	1,635	381	391	5.0	4.2
川崎市	行政事務	総合	—	120	115	901	962	209	195	4.3	4.9
相模原市	行政(6月)	他	—	76	98	632	577	70	107	9.0	5.4
新潟市	一般行政A	全変	全	12	20	175	197	13	21	13.5	9.4
	一般行政B	全変	—	3	5	60	66	2	4	30.0	16.5
静岡市	事務A	全変	—	—	—	389	432	73	84	5.3	5.1
	事務B	—	全変	80	90	29	27	6	5	4.8	5.4
浜松市	事務(行政)	全	全	55	36	145	133	50	34	2.9	3.9
名古屋市	行政一般	全変	—	100	110	623	713	125	112	5.0	6.4
	法律	他	法律	50	55	232	264	78	72	3.0	3.7
	経済	他	経済	50	55	178	172	78	62	2.3	2.8
京都市	行政(一般方式)上級I	全	全変	100	100	506	563	93	84	5.4	6.7
大阪市	行政(22-25)	適性	—	240	130	734	822	281	150	2.6	5.5
	事務(一般科)	他	全	42	30	194	307	45	33	4.3	9.3
神戸市	総合事務	他	他	75	80	504	460	105	102	4.8	4.5
岡山市	事務(一般科)	他	全	38	40	193	193	44	41	4.4	4.7
広島市	行政	全変	全	—	—	—	—	—	—	—	—
	法律	全変	法律	70	100	488	542	93	136	5.2	4.0
福岡市	行政	全	全	60	40	471	366	64	45	7.4	8.1
	行政総合	全	全	22	20	187	176	26	23	7.2	7.7
北九州市	行政I	全	—	15	10	118	103	17	12	6.9	8.6
	事務職	全	全	44	80	365	391	44	80	8.3	4.9
熊本市	事務職	全	全	44	80	365	391	44	80	8.3	4.9

国家公務員

国家一般職 (大卒/行政)	採用予定数		受験者		最終合格者数		倍率	
	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
北海道地域	187	180	656	848	314	393	2.1	2.2
東北地域	18	180	1,023	1,275	325	473	3.1	2.7
関東甲信越地域	1,368	1,220	5,378	7,212	1,572	1,792	3.4	4.0
東海北陸地域	288	300	1,761	2,177	518	770	3.4	2.8
近畿地域	362	370	1,966	2,624	566	641	3.5	4.1
中国地域	220	220	938	1,235	480	486	2.0	2.5
四国地域	124	90	633	843	248	231	2.6	3.6
九州地域	332	300	1,776	2,225	605	689	2.9	3.2
沖縄地域	76	100	492	600	143	200	3.4	3.0

*関東甲信越地域の採用予定数には、本府県の採用予定数が含まれています。

国家専門職・国会議員	採用予定数		受験者		最終合格者数		倍率	
	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
国税専門官	1,350	1,200	9,052	10,490	3,903	3,514	2.3	3.0
財務専門官	160	150	1,338	1,721	560	526	2.4	3.3
労働基準監督官A	185	200	1,318	1,560	358	379	3.7	4.1
衆議院事務局一般職(大卒)	20	20	301	173	16	15	18.8	11.5
参議院事務局総合職	15	15	非公	非公	未発表	13	非公	非公

裁判所一般職 (大卒)	採用予定数		受験者		最終合格者数		倍率	
	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
東京高等裁判所管轄	200	180	1,010	3,196	514	520	2.0	6.1
大阪高等裁判所管轄	55	55	358	1,427	171	150	2.1	9.5
名古屋高等裁判所管轄	35	30	197	1,076	88	150	2.2	7.2
広島高等裁判所管轄	20	25	90	642	38	90	2.4	7.1
福岡高等裁判所管轄	40	35	260	1,189	85	150	3.1	7.9
仙台高等裁判所管轄	15	15	99	478	41	88	2.4	5.4
札幌高等裁判所管轄	15	15	51	380	18	62	2.8	6.1
高松高等裁判所管轄	10	10	70	460	15	45	4.7	10.2

その他

国立大学法人等 (事務)	採用予定数		申込者		第一次試験合格者		倍率	
	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年	2020年	2019年
北海道地区	48	45	1,065	1,211	471	480	2.3	2.5
東北地区	54	58	1,869	1,914	529	555	3.5	3.4
関東甲信越地区	170	164	7,821	8,998	1,505	1,401	5.2	6.4
東海・北陸地区	78	89	2,848	3,241	891	1,131	3.2	2.9
近畿地区	38	54	3,245	3,330	588	731	5.5	4.6
中国・四国地区	68	91	2,480	2,612	1,071	1,069	2.3	2.4
九州地区	122	89	4,290	5,052	1,490	1,301	2.9	3.9

*第2次試験以降は採用予定のある各国立大学法人等で個別に実施されます。

TAC